

### 外部評価軽減要件確認票

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	利用者が個人ごとに町内の老人会に、今年1月に入会した。不定期ではあるが、お茶会や手芸の講習に来て頂いている。法人と町内会で、昨春には、モリコロパークに出かけるなど、共同で日帰り旅行をしており、今秋は昭和村へ出かける予定もある。	○
重点項目②		評価
	今年度は、5月と7月の2回しか開催されていない。しかしながら、7月の会議では、インフルエンザ予防関係や夏のお風呂回数が議論され、隔日入浴が毎日入浴に改善された。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	利用者本位の観点から、系列デイサービスを利用することについて、行政との交渉を重ねて実現させた。（行政に実情を伝えて、介護保険運用上の応用問題として理解を取り付け、地域密着型サービスとして実現させたことを特に評価したい）	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	家族会を2か月に1回開催し、利用者・家族の要望や意見を管理者、職員でミーティングを行い意見交換している。定期的にお便りを発行し情報提供している。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	×
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	×
総合評価		×

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

かかりつけ医の2週間に1回往診体制があり、夜間緊急時の対応も可能であり、過去のターミナル期には毎日医師の往診があったなど利用者・家族を中心に据えたホーム運営が為されている。行政と交渉して、系列のデイとの併用等利用者中心のケアを実現しようという姿勢がある。また、業務改善用紙を用い、職員のアイデアや意見を受け止める仕組みがあり、その改善等に努力している。

- 外部評価軽減要件
  - 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
  - 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
  - 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
  - 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。
- 外部評価軽減要件④における県の考え方について
 

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域とのつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取り組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

（注）要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。